



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年1月4日

我孫子市小中一貫教育だより
第266号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中学校の交流活動の様子を紹介するうな～！

布佐中学校区 中学校登校「布佐タイムの見学」

10月21日に布佐中学校で、布佐小・布佐南小の第6学年児童が布佐タイムの見学を行いました。

布佐中学校区では、今年度3回の小中学校の児童生徒の交流活動を予定しており、今回は第1回目の交流活動です。

布佐小、布佐南小の子どもたちは、事前にお互いに自己紹介動画を作成して、視聴しています。今日は、その友達と実際に対面し、布佐小、布佐南小の混合グループで布佐タイムを参観します。

開会式では、お互い緊張した面持ちで対面する布佐小、布佐南小の子どもたち。各学校の先生の話真剣に聞いていました。



いよいよ、グループに分かれて、参観開始です。初めての中学校の校舎に、目的の教室まで迷いながら、相談しながら向かっていきます。布佐タイムは、「書道」「華道」「茶道」「琴」「三味線」「郷土芸能」「柔道」「気象

学」「グローバルピース」「絵画」「なぎなた」の11講座が開講されていて、それぞれ地域や専門家など外部の方が講師を務めてくださっています。どの講座も、これまで長く積み重ねてきた取組の蓄積があり、質の高い学びが実現されていました。学習のための用具が揃っているなど、環境面においても充実しています。地域に支えられ、地域に根差した学習は、布佐中学校が地域とともにある学校として、これまでもコミュニティ・スクールに向けての歩みを重ねてきた姿です。小学生たちは、真剣に取り組む中学生の姿や、そのレベルの高さに尊敬の念や感動を覚えたようでした。



全ての講座の参観を終えて、体育館へ戻ってきた子どもたちの表情は、最初の緊張が薄らいで、両小学校の子どもたちとも少しずつ打ち解けることができたようです。

閉会式では、先生が「楽しかった人？」と問うと、ほとんどの児童が手を挙げ、小学生たちが充実した時間を過ごしたことが伝わってきました。それぞれの小学校の代表児童の感想からも、そのことがよく伝わってきました。

【代表児童の感想】

- 茶道は日本の文化と歴史と一緒に学ぶことができるので、やってみたいです。
- 今日経験してよかったことは、グローバルピースという学習です。戦争についてもっと勉強したいと思いました。
- 布佐タイムでしっかりルールを覚えて楽しく練習できそうなので、柔道をやってみたいです。
- 全ての講座が楽しそうでした。入学が楽しみです。布佐南小学校の皆さんと見学できてよかったです。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年11月22日

我孫子市小中一貫教育だより
第267号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～!

Abi-English「レストランでの表現を覚えよう」

10月25日に湖北台中学校の第2学年で、「レストランでの表現を覚えよう」をテーマに授業が行われました。

まずは、前時に学んでいた相手を食事に誘う会話を復習すると、生徒たちはその内容を用いて積極的に周りの友達やALT、参観に来ていた先生たちと会話練習を行いました。原稿を見なくてもスラスラ話す様子に、よく理解していることがわかりました。

次に、今日のテーマであるレストランでの注文場面での会話練習です。先生たちがうなぎちゃんのイラストを交えながら対話するのを聞いたあと、多くの生徒が対話の大まかな内容を口々に話し、さらに理解を深めました。続いて、今回の会話文やメニュー名を確認します。“Shrimp Bowl”など聞きなれないメニューもあり、「ボールってなんだ？ サッカーボールのボール？」など素朴な疑問が飛んでいました。説明をされると「そういうことかあ」と納得した様子も見られ、個人の疑問が学びの深まりにつながっていました。



先生との復唱練習をした後は自分たちで発話する番です。参観に来ていた先生も含めて、先生たちを店員さんに見立て、隣の人とペアを組んでご飯を注文にしに行くアクティビティを行いました。ALTから「しっかりとアイコンタクトをすること」をアドバイスとして受けたこともあり、意識をして会話を行っていました。自分の食べたいものをきちんと伝えるだけでなく、追加で飲み物の注文をするなど工夫をしながら行っている生徒もおり、学んだことを活かして主体的に活動する様子が見られ、充実した学習となりました。

Abi-English「建物での道案内はどのようにする？」

同日、湖北台中学校の第1学年で、「建物の道案内はどのようにするか」をテーマに授業が行われました。

まず、前時に学んだ屋外での道案内の表現を復習しました。同様の表現を小学校ですでに学習していることもあり、“Go straight” “Turn right”などのフレーズを自信をもって発音していました。続いて、発音したフレーズを書く場面では、戸惑いながらも一音一音を確認しながら書き進めます。「コーナーってどう書くの？ C-O-N-E-?」と生徒が口に出すと、先生たちの最後に入るアルファベットの音（フォニックス）の発音をヒントに、音から推測する姿が印象的でした。

次は本時の目標である建物の中での道案内です。まず隣の人とペアを作り、1階の現在地から3階にある目的のお店まで案内することに挑戦。しかし、なんとなく伝えることはできるものの的確な表現が見つかりません…。そこで教科担任とALTがモデルとして案内をする対話を見せると、生徒たちは重要なフレーズを聞き取ろうと集中し、メモを取る姿もありました。一度苦戦したことでより意欲が高まったようです。その後、先生と一緒に重要なフレーズを確認してから隣の人とペアを組んで、対話練習を行いました。しっかりとキーフレーズを理解して積極的に挑戦する姿はとても素晴らしいものでした。中には表現を工夫し、より気持ちよく伝えるような言い方をするペアもあり、相手のことを考える意識が高まったことがよく伝わってきました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年11月22日

我孫子市小中一貫教育だより
第268号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～!

Abi-English「自分の好きな色を英語で言おう」

10月27日に布佐小学校の第2学年で、「自分の好きな色を英語で言おう」をテーマにした授業が行われました。

初めに“Hello! How are you?”と元気に挨拶。子どもたちは“I’m happy.”や“A little hot.”と自分の気分をそれぞれ伝えます。しっかり自己表現する姿が素晴らしいです。続いて、前時の復習として、子どもたちは自由な2人組をつくり、お互いに“My name is～. Nice to meet you.”と自己紹介をしました。

次に、担任の「自己紹介で友だちから何を言われたらうれしい?」という問いから、“Today’s goal.”を「自分の好きな色を英語で言おう!」と設定しました。担任とALTがデモンストレーションで英語で好きな色を自己紹介するための表現“I like～.”を確認しました。

続いてActivityです。先ほどの自己紹介の中に“I like+色(自分に配られたカードの色)”を加えて友だち同士で会話し、終わったときにカードを交換します。子どもたちは自由な2人組をつくって活発に活動しました。さらに、ラッキーカラーが指定され、同じ色を持っているとステッカーがもらえるとわかると、さらに盛り上がりました。



まとめとして、ALTがモニターに動物を映し出し、“What do you see?”と問いながら“I see+色+動物”という表現を練習し、最後に全体で振り返りを行って授業が終わりました。

担任とALTのチームワークや役割演技も素晴らしく、子どもたちは終始、楽しそうに活発に活動しながら学び、時間が経過するのも忘れてしまうような充実した1時間の授業でした。



Abi-English「ニュージーランドの生徒と交流」

10月31日に白山中学校の第3学年で、ニュージーランドにあるアルバート校の生徒との交流会がオンラインで行われました。

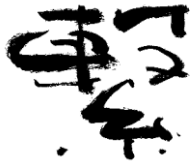
授業の初めに担当教員が生徒に今回の授業について改めて説明すると、生徒たちは緊張している様子。その後、先生の指示で5,6人のグループに分かれ、PCを前に移動すると、それぞれのグループで英語での自己紹介が始まりました。自分の名前だけでなく、趣味なども紹介をし、その内容をNZの生徒が理解してくれるたびに「おー」と歓声が上がっていました。また、向こうの自己紹介が行われると「あー」や「Yes, Yes.」などと反応をしている生徒がたくさんおり、確実にコミュニケーションが取れている様子が見受けられました。

中には日本の伝統的スポーツと称して相撲を紹介しているグループもありました。なかなか英語で説明できないところもあったのか、実演をして紹介をしていました。NZの生徒たちも笑顔を見せ、理解をしている素振りを見せていました。他にもNZの生徒が好きな映画を紹介してくれたときに、「知ってる! ○○ is so cool!!」など相槌を打っており、会話を充実させていました。



生徒たちは、授業を通してリアクションの大切さや会話を続けるために必要な技術など多くのことを学んでいました。今回の授業が生徒のモチベーションにつながり、今後コミュニケーションスキルの向上や自分の思いを的確に伝えることにつながっていくと感じています。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年11月29日

我孫子市小中一貫教育だより
第269号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT 道徳「SNSでの危険」

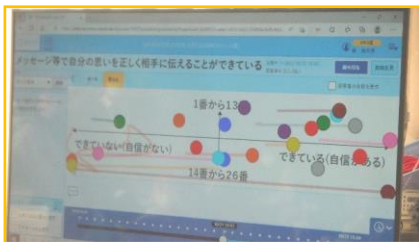
10月31日に湖北台西小学校の第6学年で、「SNSでの危険」をテーマにした道徳の授業が行われました。

初めにSNS等を利用したメール・メッセージの送信について、Sky Menu Cloudのポジショニング機能を用いて自分の現状を振り返り、クラスの現状を確認しました。

次に、SNSのトラブル事例を動画で視聴し、問題点を確認しました。同じような問題が自分たちの周りでも起きていることがわかりました。



続いてトラブルにならないために、どんなことに気を付ければよいのかをSky Menu Cloud



の発表ノートを用いて自分の考えをまとめます。その後、Sky Menu Cloudをグループモードに変更し、グループで話し合いました。話し合った内容はグループごとに全体発表しました。

「メッセージを送る相手に勘違いされないようにちゃんと意味を伝える」など、具体的な解決方法がたくさんあがりました。

学習の最後はまたポジショニングに戻り、学習を通しての気持ちの変容を確認しました。さらに、ICT教育支援員が専門

的な立場から「現代のSNSの状況や課題」について話をしました。中学校で増えてくるトラブルでもあるので、子どもたちは自分を守るためにも、しっかりと話に耳を傾けていました。

Abi-ICT 学活「個人情報」

11月2日に湖北小学校の第3学年で、個人情報の漏洩と危険性について学ぶ授業が行われました。

授業の初めに「個人情報とは何か」について考え、さらに「個人情報が広まってしまうとどうなるのか」について考えました。全体で確認することで個人情報を保護することが大切であるという認識を全体で共有しました。

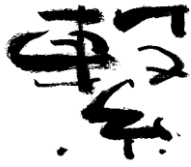
次に、スマートフォンから情報が漏洩してしまう具体的な例が提示され、何が問題なのか、どうして危険なのかを考えました。「名前、住所、生年月日、写真」など、安易な書き込みや掲載が家族にまで被害が及ぶことを学習しました。



続いて、一人ひとりがジャストスマイルを用いて「個人情報流出体験」をしました。任意のサイトに個人情報を書き込んだ結果、どんな状況に陥ってしまうのかを体験し、学級全体で共有しました。自分の個人情報だけでなく、友達の情報も書き込んではいけないこと、個人情報は思わぬところから漏洩してしまうことを学びました。



まとめに、個人情報〇×クイズに挑戦し、みんな夢中になって回答しました。振り返りとして、個人情報を大切に扱おうとする気持ちや漏洩に気を付けようとする思いをワークシートにたくさん記入することができました。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年12月6日

我孫子市小中一貫教育だより
第270号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～!

Abi-English「食べ物の栄養グループや産地はどのように伝えるのだろう」

11月9日に根戸小学校の第6学年で、「食べ物の栄養グループや産地はどのように伝えるのだろう」をテーマに授業が行われました。英語の挨拶で始まり、日付の表現とスペルを確認。次のフォニックスでも子音をテンポよく発音する子ども達の姿から、日ごろの積み重ねの成果が感じられました。その後、流れてくる音声と同じものを選ぶリスニング課題に取り組みました“net”や“bed”など似たような単語もきちんと聞き分け、「ン・エ・トウ・ネットウ」と一つ一つの文字の音から単語ができていくことを確認しました。



続いて、前時に学習した表現“I ate ○○. ○○ is in the group.”を使ってクラスの人たちへインタビューを行いました。英語がスムーズに出てくる児童が多いだけでなく、栄養グループをしっかりと理解した上でのやりとりに、子ども達が教科横断的に学んでいることがわかりました。



最後にレベルアップとして、その食べ物の産地を伝える表現を学習しました。先生が「何て言えばいいのかな?」と問いかけると、これまでの学習から“live?”などと想像する子ども達。“○ is/are from .

”と知ると「へー」と声が上がっていました。新たな表現を加えて、再びクラスの仲間へのインタビューを行いました。たくさんの友達にインタビューをし、笑顔で取り組む温かい雰囲気が印象的でした。

Abi-English「友達と好きなTシャツをつくろう」

11月10日に湖北台西小学校の第3学年で、「友達と好きなTシャツを作ろう」をテーマに外国語活動が行われました。

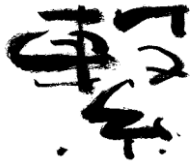
元気な声で挨拶をし、Abiフォニックスを使ってG,H,Iの音を確認しました。それぞれのアルファベットから始まる単語をイラストと共に確認し、子ども達も知っている単語を元気よく発表していました。

続いて、色、食べ物、フルーツの表現や相手の好きな色などを尋ねる表現をフラッシュカードや歌で復習しました。カードが変わるたびに大きな声で発声する姿や楽しそうに歌っている姿から学習した内容がよく身につけていることがわかります。

いよいよ本時の活動テーマ「友達と好きなTシャツをつくろう」が示されると、子ども達は「えー」と大興奮。楽しそうな活動に興味津々です。まずは友達に好きな色、食べ物、フルーツを聞き、それを参考にして友達のTシャツのデザインを考えます。活動が始まると早速



“What ○○ do you like?”とペアの友達に質問をしていました。お互いの好きなものが分かると、子ども達は夢中になってTシャツのデザインをワークシートに描き始めました。世界で一枚のオリジナルTシャツが出来上がり、ペアの児童から“This is for you.”とシートを渡されると嬉しそうに“Thank you.”と言って受け取っていました。中には「またTシャツ作りたいなあ」と言っている児童もおり、充実した学習活動となったことが伝わってきました。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年12月12日

我孫子市小中一貫教育だより
第271号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-EnglishとAbi-ICTの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-English「アルファベット」

11月10日に布佐小学校の第3学年で、「アルファベット」をテーマに外国語活動が行われました。

元気な挨拶のあと、子ども達がALTや担任の先生に“How are you?”と尋ねると、先生たちは“I’m happy.”や“I’m sleepy.”と返事をしました。すると、子ども達は嬉しそうに「僕も！」や“Me too.”とさらに返事を重ねていました。

続いて、前時の学習について思い出します。担任から好きなものを質問する表現について尋ねられると、先生たちの「ワ…」という最初の音をヒントに「What ○○ do you like?だ。」とすぐに思い出すことができました。そのあと、“What ○○ do you like?”の歌をみんなで歌い、しっかりと覚えました。

次は、本時のテーマである「アルファベット」の学習です。担任が“What is this?”と尋ねながら出すアルファベットカードを見て発音していきます。ALTから発音の注意点や似ている音の違いなどを英語で説明されると、すぐに意識をして発音をしていました。その後、アルファベットソングをみんなで歌い楽しみました。



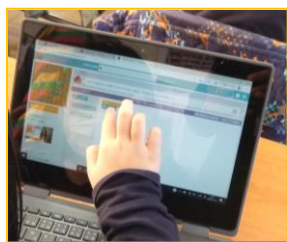
最後にアクティビティとしてアルファベット探しゲームを行いました。一人が発音したアルファベットをもう一人が教科書の中から見つけ出すというものです。ゲームが始まると「あった!」、「え? どこ?」と夢中になってゲームに取り組んでいました。アルファベットを見つけるたびに「やったー」と嬉しそうにしている様子からも子ども達が活動を楽しんでいることが伝わってきました。



Abi-ICT「身の回りのものにコンピュータはどのように使われているだろう」

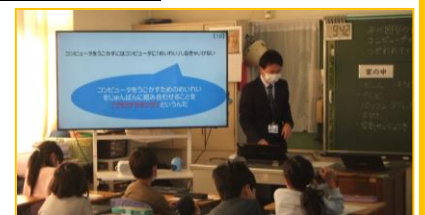
11月14日に我孫子第四小学校の第2学年で、身の回りには多くのコンピュータが使われていることを知り、プログラミングを体験する学習が行われました。

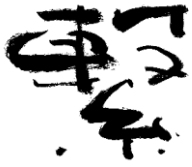
子ども達は、まず、身の回りにどんなコンピュータを使った電化製品があるかを考えました。ゲームやテレビ、スマホやタブレット、空気清浄機や掃除機など家の中にあるもの、また信号機や自動販売機、車など屋外にあるものなど、たくさん思いつきました。



続いて、これらのコンピュータを使った電化製品は、プログラミングを使っていること、そのプログラミングによって「○○だったら○○する。」という動作を自動で行っていることを学習しました。このプログラミングは、私たちの行動にも当てはまります。そこで、実際にプログラミングを体験してみることにしました。

プログラミングは、「hour of cord:古典的な迷路」を用いて行います。事前にTeamsに用意されたリンクから説明用動画を視聴し、実際に初歩からステップ5までを体験しました。ステップ1は前進のみ、ステップ5は前進・右折・左折が途中に入るなど、少しずつ複雑になっていきます。当日は2人のICT教育支援員が学習をサポートしていました。また、ステップ5まで早めに終了した児童も、お助けマンとして活躍していました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年12月12日

我孫子市小中一貫教育だより
第272号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICTとAbi-Englishの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT「防災クイズを作ろう」

11月16日に布佐小学校の第5学年で、「プログラミングを使って防災クイズを作ろう」の総合的な学習が行われました。

最初に「プログラミング」の意味について振り返り、その後みんなでスクラッチを操作しました。スクラッチを初めて扱う児童が多く、ICT教育支援員に教えてもらいながら丁寧に作業を進めていきました。

本時は「Aのボタンを押すと、対象がAの位置からBの位置に動く」「Bに到着した後に、Aの位置へ戻る」というプログラムを組みました。対象が移動する角度や、移動の速度など、何度も動きを確認しながら細かく調整しました。操作や指示に困ったときは、友達に聞いたり、相談したりしながら意欲的に進めていました。この時間で基本的な画面構成を作り上げ、次時でプログラミングを完成させます。



Abi-English「Let's think about our food」

11月17日に湖北小学校と布佐小学校の第6学年で「Let's think about our food」の学習が行われました。

湖北小学校では、Today's Goalを「昨晚食べたものを伝え合おう」と設定し、Today's Key point「What did you eat last night?」「I ate ~.」のフレーズを学習しました。

Activityでは、昨晚食べたもので3ヒントクイズを作り、グループの友達とクイズを出し合います。ヒントは、色や形、食感や味などの英語を駆使して作りました。本時で学習したい言葉だけでなく、今まで学習したたくさんの英語を組み合わせた学習になりました。思い出せない英語や、「こう言いたいんだけど・・・」という言葉は友達と相談したり、ALTに質問したりして、意欲的に取り組んでいました。

布佐小学校は、Today's Goalを「栄養について考えよう」と設定し、Today's Key point「○ is in the △△ group.」のフレーズを学習しました。



英語での挨拶の後、前時の学習「What did you eat last night?」「I ate ~ for dinner.」を復習しました。児童の様子からきちんと身につけているのが伝わりました。

次に、家庭科の栄養素の表を活用し、「Beef is in the red group.」と、食材がどのグループに属するのかを学習しました。Activityでは、友達にインタビューしながら学習を深めました。友達同士で活発なやりとりが見られ、さらに外国語と家庭科の教科横断的な学習となりました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年12月26日

我孫子市小中一貫教育だより
第273号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT「秋のおもちゃを紹介しよう」

11月24日に布佐小学校の第1学年で、「秋のおもちゃを紹介しよう」の学級活動が行われました。

本時の学習のめあては、パソコンを使って「カードにあそびかたやがんばったことをかこう」です。カードの中に付箋や手書きペンを使って作成します。1年生ですが普段からパソコンを利用しているので操作がスムーズでした。

学習の雰囲気がよく、わからないことや困ったことを先生や友達に進んで聞くことができる児童が多くいました。先生は子どもたちの様子を見取り、一人ひとりのつまずきに丁寧に対応していました。

文字の大きさやレイアウトがうまくいかず、試行錯誤を繰り返す児童もたくさんいました。しかし、自分が納得のいくカードを作成するため、粘り強く作成する子ども達から強い意欲が見られました。

学習の最後は本時の振り返りをしました。この時間でできるようになったことを確認し、ICTを活用する楽しさを味わうことができました。



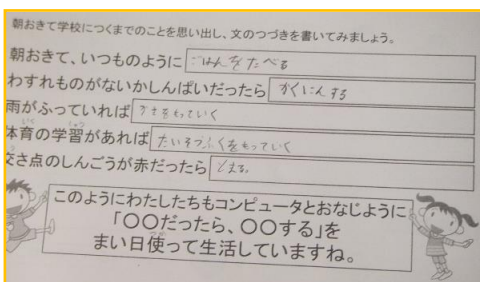
Abi-ICT「身近にあるコンピュータ」

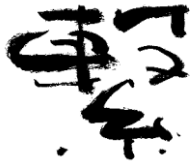
11月24日に高野山小学校の第2学年で、「身近にあるコンピュータ」の生活科の学習が行われました。

最初に、プログラミングの基礎を学習するため、自動運転するエアコンの仕組みを考えました。「〇〇だったら〇〇する」という形をもとに、子どもたちは「人がいると風を出す」「人がいなくなったら風を止める」など考えました。そして、たくさんのコンピュータとセンサーの働きで動いていることを確認しました。

次に、身近にあるコンピュータを使っていそうな電化製品と、その機能を考えました。コンピュータとは、パソコンだけでなく、身の回りにたくさん使われていることがわかりました。その電化製品は「〇〇ならば〇〇する」という命令が働いていること、そしてその命令を出すことを「プログラミング」と呼ぶことを学習しました。さらに発展し、「自分たちも自分の生活をプログラミングしている」ことを学習しました。「朝起きたら朝ご飯を食べる」や「雨が降ったら傘をさす」といった生活をプログラミングの視点で振り返ります。そして帰宅後から夕食までの自分の生活をプログラミングで考えました。「宿題があれば宿題をする」「3時になったらおやつを食べる」など、考えたプログラミングを発表し合い、理解を深めました。

本時では児童はコンピュータを使用しませんでした。プログラミング的思考を楽しく、わかりやすく学ぶことができました。





T S U N A G U

- **小から中への滑らかな接続に向けて** -

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年12月26日

我孫子市小中一貫教育だより
第274号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-English “What do you want?”

11月25日に我孫子第二小学校の第4学年で、「欲しいものの数を聞くこと」をテーマにした外国語活動が行われました。

学習の初めは英語を使った挨拶をしました。Today's leader が中心になって、“How are you?” や “How is the weather?” と学級全体に質問し、みんながそれに答えました。続いて、前時の復習で “What do you want?” を練習しました。回答は野菜の名前を英語で言います。これが、本時の学習に直結する大切な復習でした。

ALT と HRT の Small talk を通して、メインの学習の見通しを持ちます。1人がピザ屋、もう1人が客になり、楽しいスキットが始まりました。そこから「どんなやり取りなのか」「どんな言葉を使っているのか」を確認しました。そして、HRT からの “What is Today's Goal?” の質問にみんなで意見を出し合いながら「英語で数を聞こう」というゴールと、“How many?” のキーワードにたどり着きました。

本時のアクティビティは “Let's make a Pizza!” です。オリジナルピザを作るために、友達と英語でやり取りを通してトッピングを集めていきます。“What do you want?” “Green pepper please.” “How many?” “Two please.” と今まで学習してきたことを組み合わせながらやり取りを進めていきました。言い方を忘れてしまっても、友達と確認し合って正しい言い方を覚えめました。完成したピザを友達からもらい、みんな満足そうな笑顔でした。最後のオリジナルピザ紹介では、出来上がったピザを積極的に紹介し、楽しくて意欲溢れる学習の時間となりました。



Abi-English “What do you like?”

11月25日に新木小学校の第3学年で、「好きなものを聞くこと」をテーマに外国語活動の学習が行われました。

最初は英語の挨拶でスタートしました。子どもたちは大好きな英語の学習に目を輝かせていました。ALT からの “How are you?” の質問に、自分の気分をそれぞれが元気よく答えました。

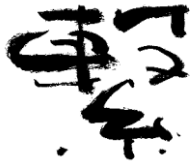
本時の活動はオリジナルTシャツのデザインを友達に作る活動でした。インタビューで相手の好きなものを聞き取り、それを

Tシャツにデザインしていきます。“What color do you like?” “I

like black.” “What food do you like?” “I like bananas.” と、今まで学習したことを組み合わせながらやり取りを進めました。

完成したTシャツデザインを友達に “Here you are.” とプレゼントしました。うれしい気持ちでいっぱいの中の “Thank you.” は大変心のこもったお礼の言葉となりました。英語を使って友達との仲を深められる素敵な時間となりました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年12月26日

我孫子市小中一貫教育だより
第275号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICTとAbi-Englishの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT 「情報モラル」

11月28日に高野山小学校の第4学年で、「著作権とは何か」「どうして著作権があるのだろうか」をテーマにした学級活動が行われました。

学習の最初に、著作権クイズに挑戦しました。「キャラクターの絵を描いてインターネットにあげてよいか」「借りたDVDをコピーして観てよいか」など、○×クイズ形式で進めていきました。そして、○と×の解答から共通性を考え、「作った人が困ることはいけない」「勝手に自分の作品を使わないで欲しい」と、発表を通して深めていきました。

続いて、©マークについて学習しました。自分の身の回りに©マークがあることを知り、実際に探してみました。すると、筆記用具や引き出しの中の物だけでもたくさんの©マークが見つかり、子どもたちは得意になって友達に紹介しました。ここで担任の先生から©マークの意味や役割、またコピー可のマークがあることを教わりました。



その後、自分たちの作った物の著作権について考えました。「友だちが考えたデザインを真似して描いた絵でコンクールに入賞した子がいたら？」という例題について、それぞれの考えをワークシートに記入しました。そして、班で意見を共有し、全体で発表しました。みんな真似されてしまった子の気持ちになって考え、改めて著作権の大切さを感じることができました。

学習の最後に、「現在作成している総合学習の発表資料作りでは、著作権に十分気を付けて作成しよう」と学級全体で意識を高めることができました。

Abi-English 「アルファベット」

11月30日に並木小学校の第3学年で、「アルファベットを覚えよう」をテーマに外国語活動の学習が行われました。

最初は英語の挨拶でスタートしました。ALTからの“How are you?”の質問に、自分の気分をそれぞれが元気よく答えました。担任の先生は持久走大会翌日で“I'm tired.”でした。前時の復習の場面ではABCソングを明るく楽しく歌いました。

本時の活動はアルファベットカードを使った神経衰弱です。最初にALTとHRTによるデモンストレーションでルールの確認をしました。先生たちが楽しそうにゲームを行う姿に、子どもたちも早くやりたい気持ちでいっぱいになりました。気を付けなければいけないところはBad versionとして示し、カードをめくるだけでなく「きちんと英語を言うこと」を確認しました。ゲームは大盛り上がりです。発音が難しいものはペアの友達が一緒に言って、確認しあいました。たくさんのカードを取った友達を称賛する姿がたくさん見られ、温かい雰囲気でした。



後半は“IJKLMNOP”を書く活動をしました。ゲーム感覚でアルファベットを書くことで、楽しく書き方が覚えられます。書く練習は5年生で本格的に学習しますが、3年生でもしっかりと書くことができました。振り返りカードにも「英語が書けるようになってうれしい」と感想があり、できるようになる喜びを感じられる学習となりました。